

第92回総務委員会と経産省ヒアリング記録

1. 開催日時 平成20年6月17日(火)
- | | | |
|-------|-----------|-----|
| 11:00 | 第92回総務委員会 | 事務局 |
| 14:00 | 経産省ヒアリング | 経産省 |
| 15:30 | 業界紙記者と懇談 | 事務局 |

2. 第92回総務委員会

出席者 吉里勉・総務委員長
高木建・理事長、酒匂雅信・副理事長、
川口克彦・副理事長、永吉明彦・副理事長、
木村昭夫・副理事長、
臼井美文・品質保証分科会主査(東京支部生産性委員長)
柘野(事務局)

- 議題 (1) 経済産業省ヒアリング資料の検討について
(2) 鋼材品質証明検討に関するアンケート調査について
(3) 第33期全国通常総会(金沢市)の収支報告について
(4) 次期全国通常総会の開催日及び開催地について
(5) 「熱切断作業の品質と安全講習会」の大阪開催について
(6) その他

経過

(1) 経済産業省へ提出のヒアリング資料の検討

事務局より標記資料について説明、了承された。

(2) 鋼材品質証明検討に関するアンケート調査について

標記の鋼材品質証明に関する検討は、当組合の20年度重点事業として5月総会にて承認された。現在生産性委員会のもとに「品質保証分科会」(主査:臼井美文(株)富士鉄鋼センター取締役)を設置して検討を進めている。

臼井主査(東京支部生産性委員長)より、6月4日開催の標記分科会の検討結果を踏まえて作成した「アンケート調査」の内容及び実施方法について報告があり、了承された。

アンケート内容は、イ)現状実態に関する事項(顧客からの受注状況、製品現品確認方法、製品のトレーサビリティ状況、品質保証資料の保管管理状況、品質監査)、ロ)新しい品質証明方式に関する意見。

実施方法は、6月30日(月)を回答期限とし、全国の支部長を通じて組合員に送付、回収することとなった。

(3) 第33期全国通常総会(金沢市)の収支報告について

事務局より、去る5月23日に金沢市で開催された第33期通常総会の収支報告を行

い、了承された。予算 230 万円に対し、実績は 246 万円。

(4) 次期全国通常総会の開催日及び開催地について

次期（34 期）全国通常総会は、検討の結果、以下の通り決定した。

①日時：平成 21 年 5 月 22 日（金）

②場所：鹿児島市

(5) 「熱切断作業の品質と安全講習会」の大阪開催について

事務局より、標記講習会の開催概要の説明、及び組合員への参加の呼びかけについて協力を依頼、了承された。今年の開催は当組合と日本溶接協会が共催で行う初の試みである。概要は以下の通り。

①日時：平成 20 年 8 月 29 日（金）10：30～16：30

②場所：大阪大学中ノ島センター 7F 講義室

③受講料：会員（当組合員）8,000 円（テキスト代、消費税含む）

④定員：80 名

⑤受講申し込み：日本溶接協会（内海）TEL03-3257-1524

3. 経済産業省ヒアリング

出席者

経済産業省

石川鉄鋼課長、松淵課長補佐、芳澤係長、他

厚板シヤ工組

高木理事長、酒匂・東京支部長、川口・東海支部長、
永吉・大阪支部長、木村・九州支部長、吉里・総務委員長
柘野（事務局）

経 過

高木理事長の司会により進行。最初に石川鉄鋼課長より、「最近鉄鋼業界において、品質管理の問題が多発しており、この問題については政府・自民党でも審議会等を設置し、再発防止に向け本格的検討を始めた。流通 3 団体に対しては、近々鉄鋼課長名で品質管理を含むコンプライアンスの徹底を促す文書を出したいと考えている。シヤ組合においても理事長名で再度コンプライアンスの徹底を全組合員に周知してもらいたい。」との要請があった。これに対し、高木理事長より、「本年 3 月以降、国交省・ゼネコン・ファブ・中間流通加工等からなる品質証明検討委員会に参加しており、これまでの議論を踏まえて組合としての対応案をとりまとめる予定である」旨、当組合の取り組み状況を説明した。

引続き、事務局から資料説明を行なった後、各支部長よりそれぞれ支部の需要動向について報告を行なった。

以上